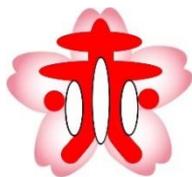


◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和3年度 赤井小学校 令和3年7月5日 NO,7

赤井小ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：協力し 笑顔あふれる あかいつ子◆

さくらだいこくん

東京オリンピック聖火リレーに東松島市を代表して和太鼓披露



赤井小に演奏依頼があったのは、これまでの先輩児童が築き上げた伝統があったからこそ



会場の雰囲気にもまれることなく、逆に聖火リレーを盛り上げた立派な6年生の演奏でした。

学校だよりでも紹介しましたが、6月20日（土）に、聖火リレーの到着を祝い、6年生が赤井いぶき太鼓の演奏を披露しました。

会場の東矢本駅前には、多くの市民や報道陣が感染予防を行って集まりました。野蒜駅を出発した聖火を乗せた電車が10時25分に東矢本駅に到着して、演奏が始まりました。聖火ランナーが駅前ロータリーを周り終わると、注目は赤井いぶき太鼓に集まりました。ラスト5分の「叩き上げ」からは、会場全員が6年生の迫力ある演奏に釘付けの様子。演奏が終わると大きな拍手が子供たちに贈られました。

子供たちにとって忘れられない演奏の機会をいただきました。これからオリンピックが開催されるたびに思い出すことでしょう。

【親の会の皆様のお手伝いに感謝いたします。】



7月の朝会 校長講話「いじめその2」(リモート) 6/30



おはようございます。今日は、約束をしていた「世の中からいじめが無くなる」お話をします。スクリーンを見て下さい。

6月の朝会で校長先生は皆さんに宿題を出しました。宿題の問題は、「1 いじめって何ですか?」「2 どうすればいじめがなくなりますか?」でした。

校長先生は全員の宿題をしっかりと読みました。とても良い考えや感心する意見がありました。中には「わかりません」という答えもありました。ですから、今日の校長先生の話を聞いて、あかいつ子が出したいじめが無くなる方法に取り組み、すてきな学校を作ることがめあてです。

では、早速、あかいつ子が教えたくれた答えをまとめてみましたので紹介します。まとめる方法として1年生から3年生までの下学年の考える「いじめ」と、いろいろな経験をしている4年生から6年生までの上学年の考える「いじめ」に分けて、まとめてみました。

ランキング形式で発表します。まず、1年生から3年生までの下学年が考えた「いじめ」とは、「1位 たたく、ける、押す」、「2位 仲間はずれや無視」、「3位 バカにする」、そのほか「嫌がることをする」や「ものを隠す」など、「これはいじめです。」と18ものいじめについて書いてくれました。怖いですね。こんなことをする人がいるのでしょうか?

次に、4年生から6年生までの上学年です。「いじめ」とは、「1位 悪口・陰

しゅくだい(6月3日)

1「いじめ」って
なんですか。
2どうすれば「いじめ」は
なくなりますか。

下学年1~3年

1位 たたく、ける、おす
2位 なかまはずれ・むし
3位 ばかにする



口・傷つく言葉」,「2位 たたく,ける,押す」,「3位 嫌がることをする」,そのほか「仲間はずれ・無視」や「二人以上で一人を責める」でした。上学年からもたくさんのいじめが出されました。

続いて宿題2の答えです。

初めに,1年生から3年生の下学年が考えた「いじめを無くす方法」とは,「1位 助け合う・優しくする・親切にする」,「2位 ダメと注意する」,「3位 言い過ぎたら謝る」です。そのほか,「いじめ・意地悪を自分からしない」,「失敗を笑わない」,「バカにされている子を守る」など,たくさんの解決方法やいじめを生まない方法が出ました。

次に4年生~6年生の上学年では,「1位 一人一人が良いことか悪いことかを判断する」,「2位 日頃から,助け合う・協力し合う・許し合う」,「3位 相手の気持ちや良いところを考える」でした。その他に,「いじめがかっこ悪いことに気付く。」や「ゲームやネットでも言葉遣いに気を付ける。」などたくさん出されました。

まとめ。以上のことから,キーワードをつないで皆さんの考えをまとめてみます。下学年と上学年の考えるいじめはだいたい同じでした。世の中から無くなって欲しいあかいつ子が考えているいじめは「叩いたり,蹴ったりする暴力と悪口や陰口を言うチクチク言葉,ものを隠したり,無視したり,馬鹿にしたり,人間の心を傷つけ,踏みにじること。また,もっとひどいことはそれを二人以上ですること。」でした。皆さんが教えてくれた「いじめ」について,校長先生はよく分かりました。嫌ですね。そんないじめが起こったら悲しいですね。

次に「いじめがなくなる方法」は,1年生から3年生の考えは「間違ったときは謝り,いじめを見つけたときは注意する。そして,普段から仲良く,やさしくすること」です。4~6年生の考えは「相手の気持ちや行動を認め,一人一人が自分の行動が良いか,悪いかを判断する。そして,日々,助け合い,協力し合うこと」です。また,「SNSやスマートフォンなどの顔が見えない場合は,より言葉遣いに注意すること」です。

1年生から3年生の下学年の皆さん,いろいろな考え方ができるようになっている上学年のお兄さん,お姉さんは,学級や全校などみんなで仲良くするだけではなく,いじめを生まないためには,「一人一人の違いを認めて,人に流されず自分で判断する」と,教えてくれました。「ずばり,最後は自分です。」 下学年の皆さん,上学年のお兄さん,お姉さんはよく考えていますね。

最後に,お兄さんお姉さんの意見の中にはとつするものがありました。紹介します。

「いじめとは,人の心や命を粗末に扱うことです」(6年生)

粗末に扱うとは,大切にしない,とか,乱暴に扱うことです。親からいただいた大切な命や心を「いじめ」で,傷つけ,乱暴に扱う人にならないように,あかいつ子が考えたいじめがなくなる方法で,これからも「いじめゼロ」の学校を作りましょう。いじめゼロの学校のなると学校の合言葉「笑顔」がいっぱいで,さくら児童会のスローガン「協力し 笑顔あふれる あかいつ子」の楽しく明るい学校になります。今日から,いや今から,姿勢良く,挨拶良く,言葉遣い良く,自分たちの力でいじめのない,よい学校を作りましょう。それが,世の中からいじめを無くす第一歩です。

校長先生の宿題にたくさん,そしていろいろな考えを書いてくれた全校のあかいつ子の皆さん,ありがとうございました。

7月も,協力し合いながら,挨拶に,学習に,運動に笑顔でがんばりましょう。



下学年1~3年

- 1位 たすけあう・やさしくする・しんせつにする
- 2位 「ダメ!」とちゅういする
- 3位 いいすぎたらあやまる

上学年4~6年

- 1位 一人一人が良いことか、悪いことかをはんだんする
- 2位 助け合う・協力・ゆるし合う
- 3位 相手の気持ち・良いところを考える



「いじめとは」

たたく・ける・ぼうか・わる口・かげ口・チクチクことば・ものかくし・むし・バカにする・心をきずつける・ふみにじる・二人以上で

赤井小おにいさん・おねえさん
なかよくする プラス



一人一人の
ちがいをみとめる
正しいか自分ではんだん

ズバリ!

いじめをするも しないも

さいご じぶん
最後は自分!

いじめとは!

こころ いのち
人の心や命を
そまつにあつかうことです
くそまつ...大切にしない>

今回の話は,子供たち全員が書いたアンケートを基に話をしました。言い換えれば,子供たち自身が考えたいじめを無くす方法です。これから,この話で終わりではなく,子供たちの考えや思いを行動に移す取り組みを行って参ります。